



STORE

ライソン製品をお試し感覚で気軽に利用できる  
返却もOK!月額制のなつく払い



INFO

「誰でも気軽に簡単に」ライソンの製品で  
暮らしをより豊かにする情報をご紹介します



よろしければフォローお願いします!



# 取扱説明書

## もくじ

- 安全にお使いいただくために … P.2、3
- 各部名称・セット内容 … P.3
- ご使用方法 … P.4、P.5
- お手入れ方法 … P.6
- 故障かな?と思ったら … P.6
- 製品仕様 … P.7
- 保証書 … P.7



家庭用

(業務用として使用しないでください)

ライソン株式会社 お客様サービスセンター  
〒577-0034  
大阪府東大阪市御厨南2-1-33  
**06-6789-1199** 月～金(祝日のぞ)10～16時

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。  
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。  
この取扱説明書はお読みになった後も、大切に保管してください。

## 安全にお使いいただくために

### ご使用前に必ずお読みください。

※電気ケトルに関するお子様の事故が多発しております。ご使用の際は十分お気をつけください。

- 本製品は家庭用製品です。業務用ではありません。
- この説明書には、ご使用になる方やその周辺にいる方々や物への危害や損害を未然に防ぐためのお守りいただきたい事項を記載しています。製品を安全にご使用いただくために内容を十分にご理解いただきますようお願いいたします。

### 警告

この表示は、内容を無視し間違った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険性の高い内容を示しています。

- 使用中、プラグや電源コードが異常に熱くなったり、本体から煙や異常なおいが出るようなときは、直ちに使用を中止して、弊社お客様サービスセンターにお問い合わせください。\*傷んだプラグやコードは絶対に交換、分解、修理、改造をしないでください。\*感電、ショート、発火の原因になります。
- 分解・改造は絶対にしないでください。また技術者以外による修理はしないでください。\*感電、ショート、発火の原因になります。
- 交流100V、定格15A以上、コンセントは単独で使用してください。(交流100V以外では使用しないでください。)\*火災、感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントに正しくしっかりと奥まで差し込んでください。\*感電、ショート、発火の原因になります。
- コンセント部分に水や埃などがつかないようにしてください。\*感電、ショートの可能性がありま。
- 電源コードに対して以下の行為はしないでください。  
・曲げる・ねじる・引っ張る・束ねたまま使用する・何かを上に載せる・加工する \*感電、ショート、発火の原因になります。
- コンセントは二股以上の配線で使用しないでください。\*電力を超えた使用は、コンセント部分の発熱、発火の原因になります。
- ケトル本体の底面や『電源プレート』を水で濡れた状態で使用しないでください。また、水に浸けしないでください。\*感電、ショート、製品故障の原因になります。
- ケトル本体の内側に刻印されている「MAX」の目盛り以上の水を入れしないでください。\*お湯があふれ出し、やけどやケガを負う可能性があります。
- 湯沸かし中はフタを確実に閉めてください。\*お湯があふれ出し、やけどやケガを負う可能性があります。
- 湯が入った状態で本製品をゆすったり、転倒させないでください。\*やけどやケガを負う可能性があります。
- 湯沸かし中は本製品を移動させないでください。\*湯が流れ出たり、上記でやけどを負う可能性があります。
- 『電源プレート』のお手入れは、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなってください。  
\*やけど、感電、ケガを負う可能性があります。
- 子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところに置かないでください。\*やけど、感電、ケガを負う可能性があります。

### 注意

この表示は、内容を無視すると対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- 不安定な場所で使用しないでください。\*火災の原因になります。
- 設置の際は電源コードを足で引っ掛けたり、踏んだりしないようご注意ください。\*ケガややけど、製品故障の原因になります。
- 本体ケトル内に水・湯以外のものを入れしないでください。\*噴き出してやけどや汚損の原因になります。
- 使用時以外は電源プラグはコンセントから抜いてください。\*ケガややけど、漏電の原因になります。
- 使用中や使用後しばらくは、『電源プレート』および高温部分を触らないでください。\*やけどの原因になります。
- 家具や壁、燃えやすいものの近くで使用しないでください。\*熱気や蒸気でやけどや対物的に損害を与える原因になります。
- ストーブやガスコンロなどの熱源の近くで使用しないでください。\*発火、製品故障の原因になります。
- 屋外や水気の多い場所で使用しないでください。\*感電・ショート・製品故障の原因になります。
- 直射日光のあたる場所で使用しないでください。\*発火・製品故障の原因になります。
- 使用中や使用後しばらくは、蒸気に顔を近づけたり、手をかざさないでください。\*やけどの原因になります。
- 使用中は絶対に製品から離れないでください。\*火災の原因になります。
- ケトル本体を直火、電磁調理器、電気ヒーター等にのせて使用しないでください。\*発火、製品故障の原因になります。
- 注ぎ口を布巾などでふさがしないでください。\*やけどやケガを負う可能性があります。
- ケトル本体に水が入っていない状態で電源を入れしないでください。\*製品故障の原因になります。
- ケトル本体の内側に刻印されている「MIN」の目盛りより少ない水の量では使用しないでください。\*製品故障の原因になります。
- 湯沸かし以外の目的では使用しないでください。

### 注意 (つづき)

この表示は、内容を無視すると対人的に障害を負ったり、対物的に損害の発生が想定される内容を示しています。

- 製品を落としたり、ぶつけたり等の強い衝撃を与えないでください。\*製品故障の原因になります。
- 製品に異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。
- 使用後は、電源プラグを抜き、高温部分が冷めたことを十分に確認したうえでお手入れをし、収納してください。\*やけどの原因になります。
- お手入れにベンジン・シンナー系の溶剤は使用しないでください。また、みがき粉・金属たわしを使用しないでください。  
\*製品の変色・変形・故障・傷の原因になります。
- 使用後の保管は、お子様の手の届く場所で保管しないでください。\*思わぬ事故・ケガの原因になります。
- 誤った使用方法で取り扱わないでください。

※誤った使用方法で発生するすべての事柄に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。

## 各部名称・セット内容

### ケトル本体



### 電源プレート



## ご使用方法

### 1. 水を入れる

- ①片方の手で『ハンドル』を握り、もう片方の手で『フタツツミ』をつかんで、『フタ』を外します。【図.1】
- ②水をケトル本体の内側に刻印されている容量(「MIN(最小限)」0.5L ~ 「MAX(最大限)」1.0Lの間)で収まるように入れます。【図.2】
- ③片方の手で『ハンドル』を握り、もう片方の手で『フタツツミ』をつかんで、『フタ』をしっかりと押し込んで閉めます。



【図.1】フタの取り外し



【図.2】ケトルの内側

※『フタ』がしっかりと閉まっていない状態で使用すると、『フタ』が外れてお湯がこぼれ、火傷をするおそれがあります。

### 2. ケトル本体を『電源プレート』にセット

- ①『電源プレート』を平らで安定したところに置いてください。
- ②ケトル本体を『電源プレート』に正しくセットします。【図.3】ケトル本体と『電源プレート』が、ずれていないか確認してください。



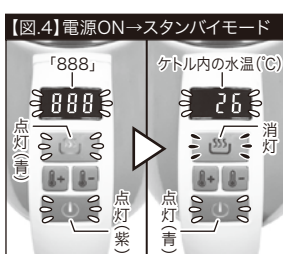
【図.3】セッティング

### 3. 電源プラグを差して、「スタンバイモード」

- ①電源プラグをコンセントに差すと、「ピーツ」と音がして、最初に「888」と表示され『電源ランプ』が紫に点灯、『保温ランプ』が青く点灯します。(約1秒)
- ②その後、ケトル本体の中の水温が表示されて『電源ランプ』が青く点灯し、『保温ランプ』が消灯して「スタンバイモード」になります。【図.4】

※「スタンバイモード」で操作ボタンを押さずにそのままにしておく(約9秒)、表示が消え「スリープモード」になります。

※「スリープモード」時に『電源ボタン』を押すと「スタンバイモード」になります。



【図.4】電源ON→スタンバイモード

### 4. 加熱開始

- ①「スタンバイモード」時に電源ボタンを押したら『電源ランプ』が赤く点灯して加熱が開始されます。【図.5】
- ②加熱が終わると「ピーツ」と音がして、「スタンバイモード(『電源ランプ』が青点灯)」→「スリープモード(『電源ランプ』がゆっくり青点滅)」になります。



【図.5】加熱

### 5. 温度設定

- 加熱中(『電源ランプ』が赤く点灯中)に、『温度設定ボタン』でお好みの温度に設定できます。【図.6】

- 初期設定温度：100°C
- 温度設定範囲：40～100°C (1°C単位で調節)



【図.6】加熱の温度設定

### 6. 保温設定

- ①温度設定した後に『保温ボタン』を押すと、設定された温度で保温されます。保温機能作動中は『保温ランプ』がゆっくり青く点滅して、ケトル内のお湯の温度が表示されます。【図.7】

- 保温可能範囲 40～95°C (1°C単位で調節)
- 設定された温度より、約3°C下がると加熱が始まり、設定温度になったら加熱が停止されます。
- ※95～100°Cの設定温度で『保温ボタン』を押した場合、95°Cで保温されます。

- ②保温中に『温度設定ボタン』を押すと保温温度の変更ができます。【図.7】
- ※ケトル内のお湯の温度よりも設定温度が低い場合は、「設定温度+3°C」で表示され、中の水温が「設定温度+3°C」以下になってから正確に表示されるようになります。



【図.7】保温(保温の温度設定)

- 例) 保温設定温度:55°Cの場合
- ①ケトル内のお湯の温度：75°C → 表示温度:58°C (設定温度+3°C)
  - ②ケトル内のお湯の温度：58°C → 表示温度:58°C
  - ③ケトル内のお湯の温度：57°C → 表示温度:57°C
  - ④ケトル内のお湯の温度：52°C → 表示温度:52°C (設定温度-3°C)
- 加熱開始
- ⑤ケトル内のお湯の温度: 55°C → 表示温度:55°C
- 加熱停止
- 保温機能作動中は④と⑤の繰り返し

- ③保温開始から30分間経つと保温機能は自動で停止します。また、保温中に『保温ボタン』を押しても保温機能は停止し、「スタンバイモード(『電源ランプ』が青点灯)」→「スリープモード(『電源ランプ』がゆっくり青点滅)」になります。

#### 【加熱中、保温中の設定温度について】

- 設定温度は加熱中、もしくは保温中に変更することができます。
- ※ケトル本体を一度『電源プレート』から離すと温度設定は初期設定温度(100°C)に戻ります。

#### 【沸騰時間目安】

※常温の水を使用した場合(水温約26°C)

- MIN (0.5リットル)：約3分
- MAX (1.0リットル)：約6分

#### 【各ランプの表示のまとめ】

- | (電源ランプ)      | (保温ランプ)         |
|--------------|-----------------|
| 青点灯：スタンバイ    | ゆっくり青点滅：保温機能作動中 |
| 赤点灯：加熱中      | 消灯：保温機能停止中      |
| ゆっくり青点滅：スリープ |                 |

お湯の温度を調節して抽出することで、コーヒーや様々なお茶を美味しく仕上げられます。

飲料	玉露	煎茶	紅茶/コーヒー	ハーブティー
おすすめの温度	50°C	70～80°C	93°C	98°C



## お手入れ方法

長期間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。  
必ず電源プラグを抜き、本体が冷めたのを確認してお手入れをおこなってください。

### 『電源プレート』・ 本体外側のお手入れ

必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってください。  
やわらかい布で乾拭きをしてください。  
※ケトル本体、及び『電源プレート』は絶対に水に浸したりしないでください。故障の原因となります。  
※磨き粉や金属タワシ、漂白剤などは使用しないでください。

### 本体内側のお手入れ

水でよくすすいでください。そのあと乾いた布でしっかりと拭いてください。  
※長期間使用しない場合は、しっかりと自然乾燥させたあと、保管してください。  
※本体内側の汚れ(白い浮遊物、虹色などの変色、赤サビ状のはん点など)は、水の成分の作用によるもので、容器自体の変色等ではありません。

## ■カルキ除去

定期的なカルキ除去をおこなわない場合、ケトルが正常に動作しない可能性があります。

- カルキの推積は水道中のミネラル分や不純物が蓄積したり、硬度の高い水を使用することで起こる自然な現象です。本製品を正常に機能させるために、定期的なカルキ除去をおこなってください。(※カルキ除去の適正なサイクルはお使いの水の硬度によって異なります。)60回使用毎のカルキ除去をおすすめします。

- ①ケトル本体の内側に刻印されている「MAX(1.0L)」に対して、水を2/3程度入れてください。
- ②水を沸騰させます。
- ③カルキ除去剤を「MAX(1.0L)」に達するまで足します。(カルキ除去剤は家庭用品売り場などで購入してください。)水に対する濃度は実際に使用するカルキ除去剤に記載されている指示に従ってください。
- ④15分程放置します。
- ⑤除去剤溶液を捨て、水道水できれいにすすいだ後、よく乾かしてください。

※カルキ除去をおこなっていない場合の製品保証は無効となります。

## 故障かな？と思ったら

### ■修理を依頼される前にご確認ください

- 下記の場合、再確認いただくことで故障ではなく、問題が解消する場合があります。問題が解消しない場合はただちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。安全を確認したうえで、弊社『お客様サービスセンター』までご相談ください。
- ご家庭での修理、分解は絶対におこなわないでください。

問題事例	再確認するところ	問題解消の方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。
電源に接続しているのに作動しない	ケトルが空の状態ではありませんか？	過熱(空焚き)防止機能が働き、自動的に電源が「OFF」になった可能性があります。『電源プレート』から本体を外して、本体が安全な温度に冷えるまで20分程お待ちください。
電源に接続しているのに作動しない	本体内側にカルキが付着していませんか？	カルキ除去の必要があります。P.6(お手入れ方法)■カルキ除去を参照の上、カルキ除去をおこなってください。
電源プラグが異常に熱い	コンセントの差し込みがゆるくなっていませんか？	製品本体または、コンセントに問題があります。使用を中止して、お買い上げになった店舗、または弊社『お客様サービスセンター』までご相談ください。
100℃以上の温度表示がされる	操作中に華氏温度表示に切り替わった可能性があります。	温度設定＋ボタンと－ボタンを同時に長押し(約4秒)してください。ピーと音が鳴ったら摂氏温度表示に戻ります。

## 製品仕様

定格電圧	AC100V	最大容量	1L
定格消費電力	1000W	電源コード	約0.8m
定格周波数	50/60Hz	本体サイズ	約W290×D160×H210mm (『電源プレート』含まず)
保温装置の有無	有		
温度設定範囲	加熱時：40～100℃(1℃単位で調節)	本体重量	約725g(『電源プレート』含まず)
	保温時：40～95℃(1℃単位で調節)	材 質	ステンレス、PP

※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

## 保証書

### 保証書

本書は保証期間内に本書記載内容で無料保証をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、弊社お客様サービスセンターにご依頼ください。

※この保証書は販売店様の日付けの入ったレシートまたは領収書がなければ無効となります。

製品コード	KDKE-10B	製品名	電気カフェケトル 1L～温度設定・保温機能付き～
※お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日より：1年間
お 客 様	お名前		
	ご住所 〒 電話番号		
※販 売 店	住所・店名		
	電話番号		

当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報は、修理・交換後の製品発送のみ使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

販売店さまへ ※印欄は必ず記入(もしくは押印)してください。

### 保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障及び損傷した場合に、弊社が無料保証いたします。弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
2. 保証期間内に故障した場合には、製品と本書をご持参・ご提示の上、弊社「お客様サービスセンター」にご依頼ください。
3. 保証期間内でも次の場合には保証対象外になります。
  - ①弊社「お客様サービスセンター」以外による分解・修理及び改造をおこなった場合
  - ②お客様の過失・不注意(使用上の誤り、製品をぶついたり落下等による強い衝撃を与えるなど)による故障及び損傷
  - ③取扱説明書に記載されている消耗部品が自然摩耗または自然劣化していることに起因して故障が発生した場合
  - ④火災・地震・その他の天災事変による故障及び損傷
  - ⑤本書の指示がない場合
  - ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
  - ⑦他人へ譲渡した場合
4. レンタルなどによる貸し出し、オークション等による転売・中古販売、及び譲渡によって発生した故障・損傷・劣化・損傷・事故などに対して一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効となります。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

発売元 ライソン株式会社  
〒577-0034 大阪府東大阪市御厨南2-1-33

お客様サービスセンター  
TEL 06-6789-1199  
【月～金(祝日除く)10時～16時】